

千葉県社保協通信

2014年度 No1

2014年 6月 24日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉セカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

安倍内閣 暴走にストップを！ 住民の実態から 国へ 自治体へ “憲法25条” 活かす共同の輪さらに

千葉県社保協 第20回定期総会



社会保障推進千葉県協議会は6月21日土曜日、千葉市内にて第20回定期総会を開催。13団体・11地域から52人が参加しました。

須木時夫会長は「安倍内閣の暴走！消費税増税したうえ、さらに社会保障きりすてとは許せない」とあいさつ。

丸山慎一県議は「憲法9条、25条が輝く日本と一緒に」とともにたたかう仲間として激励のあいさつ。

活動方針提案をうけ、参加者からは「年金削減に異議ありの不服審査請求」をはじめ、悪政への怒りをバックに大きく広がる地域からの運動の発言が相次ぎました。

そして「安倍内閣のねらいを徹底的に明らかにし、現場、地域住民くらしの実情を広く訴えながら、社会保障拡充求める共同の輪を広げよう」「子ども医療費助成の拡大、重度患者医療制度の現物給付化などの前進を確信に、国や自治体にむけてのねばり強い運動がますます重要」「加盟団体で論議を深め、地域との協力・連携を強めよう」と運動方針を確認し、鈴木徳男会長（新）はじめ新役員を選出。

▲総会では、元千葉県母子自立支援員の木村和子さんが、「ひとり親家庭に寄り添って」と題して講演しました。（写真右）

ひとり親家庭が増加するも「県内の支援員は全員非常勤」「専門性が求められるにも関わらず研修が不十分」なこと。また「母子寡婦福祉資金の返済が滞って、頑張っても何とか元金を返済しても10.75%の違約金が科せられる」など、収入が一般家庭の3割というひとり親家庭の困難な状況や相談事例にふれながら、県の支援体制と制度の問題点を指摘。

さらに、経験を生かして安心して働きたいと県職労に加入し、労働条件の改善・雇用の確保につなげてきたと話し、社保協活動への期待を語りました。



▲20周年記念誌発行と記念講演会・レセプションの開催決定！！

11月29日(土) 14:30-16:30 県教育会館 303

記念講演-芝田英昭 立教大学教授 17:00-レセプション
プラザ菜の花にて

各団体・地域社保協の発言

- ・民医連⇒ 介護保険給付見直しによる影響予測調査について
- ・あびこ社保協⇒ 「要支援者を予防給付から外すな」市議会で意見書採択
- ・佐倉市社保協 ⇒ 念願の地域社保協結成！
- ・新婦人⇒ 「私は言いたい」くらしの実態からの声を国会へのとりくみ
- ・千葉土建 ⇒ アスベスト訴訟について
- ・千商連⇒ 私の働き分を認めて、所得税法56条は明治憲法のなごり
- ・障千連 ⇒ 人権無視！65歳からの介護保険への移行はごめんだ
- ・年金者組合 ⇒ 年金とくらし守れ一人請願のとりくみ
- ・保険医協会 ⇒ 南房総から発言「アベ ノーサンキュー」銀座パレード

● 連帯のごあいさつ & メッセージ ありがとうございました

- *中央社会保障推進協議会
- *東京社会保障推進協議会
- *埼玉県社会保障推進協議会
- *神奈川県社会保障推進協議会
- *山梨県社会保障推進協議会
- *NPO法人千葉県腎臓病協議会
- *千葉県母親連絡会
- *日本共産党 丸山慎一県会議員